

「シジュウカラの営巣(1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

北軽井沢には野鳥が多い。個体数だけでなく、生息する種類も多い。哺乳動物も多い。これらの事実は、生態系が豊かで安定していることを意味する。

その中でもシジュウカラ(四十雀)は、ヤマガラ(山雀)に次いでよく見かける野鳥だ。ヤマガラは文字通り山地にしかいないが、シジュウカラは都会にも生息し、繁殖もしている。いずれも樹洞性営巣なので、巣箱をかけるるとほぼ100%繁殖に成功する。



「シジュウカラ」 北軽井沢 撮影 ; C. Tanaka

巣箱の中では、どんな子育てが行われているのだろうか？しかし、巣箱の中を覗くわけにはいかず、通常は観察が難しい。



私は、左下写真のような特注の巣箱に、カメラを設置して観察している。もう何年も使っているのですが、修理跡で満身創痍であるが、この巣箱が最も営巣率が高く、今までにヤマガラ2回、シジュウカラは5回も営巣・繁殖している。巣立った野鳥は40羽を超える。



巣箱の設置場所で、一番気を付けなければいけないのは、ヘビの被害を避けることだ。野生の営巣でも、7割近くがヘビの被害に遭うという。普通の樹木の幹は、設置場所としては最悪で、ヘビは確実に登ってきてしまう。私は上写真のように、裏庭の物置壁面に設置している。この方法に変えてからは、ヘビの被害に一度も遭っていない。



巣箱を設置して約2週間後の4月15日、さっそくシジュウカラが「下見」に訪れた。中には何も入れないほうが良い。巣草は自分で運び込むのだ。(つづく)